

在宅や施設等の住み慣れた暮らしの場における看取りを支援するため、以下の事業を実施
⇒①都民向け講演会の開催、②看取り研修の実施、③環境整備に対する支援

①都民向け講演会の開催

住み慣れた場所で暮らし続けるための制度や地域の仕組みを紹介するとともに、実際に暮らしの場で看取りをされたご家族と支援した医療・看護・介護職のチームが、講演を開催

- ◆対象者: 都民、医療・介護関係者
- ◆規模: 各回100名
- ◆場所: 都内4か所(市部2か所、区部2か所)

②看取り研修の実施

○医師向け研修(基礎編)

看取りに対する理解を深めるための研修を実施

- ◆対象者: 看取り実績のない、少ない都内の医師
- ◆規模: 600名(100名×2回×3年間)
- ◆内容: 看取り期の医療・ケアに関する基礎的な内容(在宅・施設共通)
- ◆形式: 講義・グループワーク
- ◆年2回実施予定

○実践編研修

「在宅編」と「施設編」に分けて研修を実施

(平成29年度から平成31年度までの3年間で全区市町村に実施)

- ◆対象者: 区市町村単位で多職種がチームを組んで参加
- ◆規模: 12区市町村(3年間で62区市町村)
- ◆内容: 具体的な事例をもとにチームで検討するなど、実践的な内容
- ◆形式: グループワーク・講義
- ◆「在宅編」、「施設編」ともに年1回実施予定

③環境整備に対する支援

【看取り環境整備支援事業】

看取りを行う環境を整備する事業所等を支援する区市町村に対する補助

- (1) 既存施設において看取りを行うために実施する改修等
- (2) 「看取り期まで対応する小規模な地域の住まい」を整備・開設する事業

◆補助基準額 : (1) 6,000千円(補助率3/4)、(2) 10,000千円(補助率10/10)

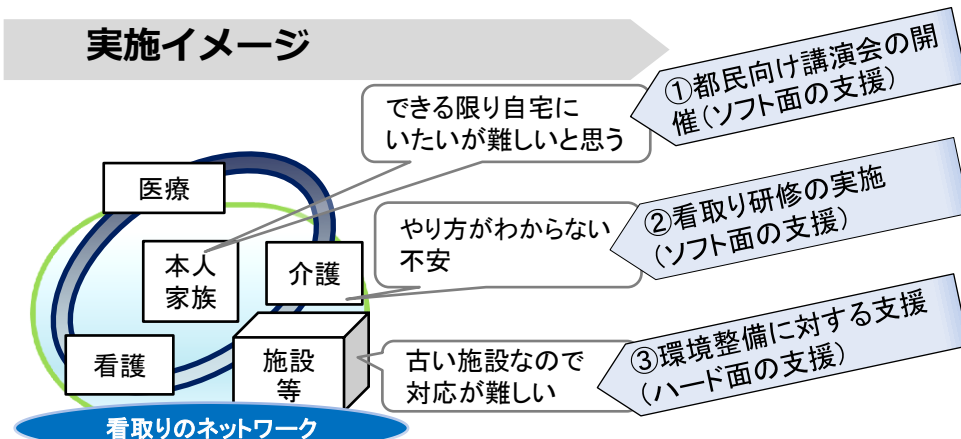
◆補助方式 : 区市町村を通じた間接補助

【「看取り期まで対応する小規模な地域の住まい」看取り対応支援費補助】

補助対象住まいに対し、開設後において継続的に必要な体制を整えるための費用を支援

- ◆補助基準額 : 月額24千円/人(月額上限120千円/施設、補助率10/10)
- ◆補助方式 : 直接補助

実施イメージ



◆看取りを実施する事業所等を、ソフト・ハード両面から支援

平成 29 年度 東京都暮らしの場における看取り支援事業

暮らしの場における 看取り支援事業 医師向け研修（基礎編）

8 / 6 (日)

参加費無料
先着順

～都民が住み慣れた地域で安心して暮らし、希望に沿った最期を迎えることができるように～

都民の意識調査では、最期を迎えたい場所は「自宅」がもっとも高い割合となっています。しかし、実際には都民の7割程度の方が病院で亡くなっています。都民が住み慣れた地域で安心して暮らし、希望に沿った最期を迎えるためには、医師が、看取りに対する理解を深めるとともに、看取りを実践するために必要な専門的知識やスキルを持つことが重要です。

本研修では、これから看取りまでの支援を考えている医師の皆様方を対象に、住み慣れた暮らしの場における看取りを希望される方に、どのような支援ができるのか、看取りに関する経験が豊富な先生方を講師としてお招きした研修を実施いたします。ぜひ、御参加くださいますよう御案内申し上げます。

開催日時

第1回 平成29年8月6日(日) 10:00～17:30(受付9:30～)

※第2回は、平成30年1月以降に開催予定です。別途、開催案内を送付いたします。

対象

(都内在住または都内の施設等に在勤)

- ・ 今後、看取りに取組みたい
- ・ 看取りに対する知識を学びたい

など看取りに対し関心のある医師の方を幅広く対象としております。

★このような医師の方は、ぜひ御参加ください！

看取りについて・・・

- 経験がないため患者さんや御家族に対する具体的な対応方法がわからない。
- 何度か経験はあるが、より患者さんの希望に沿うためにはどのような点を配慮して対応すべきか知りたい。
- 多職種の連携について知りたい。

※実践的な内容については、今年度中に多職種を含めた形式で実施予定です。



定員

100名程度 (※定員に達した場合は、受付を締め切らせていただきます。)

申込期限

平成29年7月21日(金曜日)

場所

ビジョンセンター東京 3階 302会議室

(〒104-0028 東京都中央区八重洲2-3-14 ケイアイ興産東京ビル)



【1階 エントランス外観】



<最寄駅からの所要時間>

- ・ JR 東京駅 八重洲南口 徒歩2分
(地下街4番出口 徒歩1分)
- ・ 東京メトロ銀座線京橋駅 7番出口 徒歩4分
(京橋エドグラン 8番出口 徒歩2分)

☆研修内容・講師、お申込み方法については裏面をご覧ください。

研修内容			
項目	主な内容	講師	
はじめに	本研修の目的等について	呉屋 朝幸 (杏林大学名誉教授)	
看取りに関する東京都の現状	・看取りをとりまく社会情勢 ・地域包括システム など	東京都福祉保健局 医療政策部	
医師として在宅看取りをどう考えるか	・在宅で看取るということ ・かかりつけ医としての役割について など	鈴木 央 (鈴木内科医院院長)	
在宅看取りにおける訪問看護について	・訪問看護の立場から医師に求めること ・訪問看護の具体的な活用について	宮近 郁子 (訪問看護ステーションけせら) 椎名 美恵子 (訪問看護ステーションみけ所長)	
意思決定 支援	(STEP1) 患者自身の意思決定能力の 評価	患者自身に意思決定能力があるかどうか について何を基準に評価するか	三浦 靖彦 (東京慈恵会医科大学附属柏院総合診療部診療部長)
	(STEP2) 在宅看取りのための患者・家族との合意 形成	患者、患者家族と医療者との意思決定に 向けた継続的対話について	山崎 章郎 (ケアタウン小平クリニック院長)
	(STEP3) 患者の推定意思の尊重	患者が自らの意思決定に関与することが 困難な場合、どのように考えるか	三浦 靖彦 (STEP1 と同)
	(STEP4) 多職種での関係 (チーム形成)	看取りにおける多職種連携について	井上 俊之 (医療法人社団エトワール会 たんぼほクリニック院長)
法律等について	・死亡診断書について ・在宅死における法的諸問題について	新田 國夫 (東京都在宅療養推進会議会長)	

申込方法

(URL) <http://www.htsv.biz/mitori-entry/> が申込みフォームとなっておりますので、必要事項を御入力の上、平成29年7月21日(金)までにお申し込みください。(スマートフォンからは、ページ右下のQRコードを御使用ください。)なお、PC、スマートフォンによる送信が難しい場合は、下記のいずれかにてお申し込みください。

■ **ファクシミリ**: 別紙の「参加申込書(ファクシミリ・郵送用)」を御記入の上、ファクシミリにて送付ください。

■ **郵送**: 「〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町 45 番地 805 株式会社パナックス・ジャパン宛」に、「参加申込書(ファクシミリ・郵送用)」を御記入の上、封筒等に封入いただき、送付ください。(申込締切消印有効)

(※) 申込みを受け付けた方には、追って、受講票を送付します。研修当日に御持参ください。(7月下旬送付予定。)

本研修に関する東京都ホームページ

東京都福祉保健局 > 医療・保健 > その他の医療対策 > 在宅療養 >

暮らしの場における看取り支援事業 医師向け研修(基礎編)第1回を実施します(平成29年8月6日)

(URL) <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryu/sonota/zaitakuryouyou/mitori-ishimuke1.html>

(※) 申込期限等について、お申込み状況によって変更になる可能性があります。随時、上記ホームページにてお知らせします。

申込・お問合せ先

【運営事務局】株式会社パナックス・ジャパン 担当: 山崎(平日 9:00~17:00)

電話: 03-5256-0105 ファクシミリ: 03-6206-0465

Eメールアドレス: mitori@panax.co.jp

住所: 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町 45 番地 805

【申込フォームQRコード】



東京都

暮らしの場における 看取りのための 多職種向け研修(基礎編)

3/23(木)

参加無料
事前申込制

人生の最終段階を暮らしの場である自宅や施設で過ごすことを多くの都民が望んでいますが、実際には7割程度の方が病院で亡くなっています。本人の意向に基づくケアを提供するためには、看取り期のケアに従事する専門職が、まずは人生の最終段階について具体的なイメージをもち、ケアの在り方や手順について理解を深めることが必要です。

本研修では、自宅や施設等の住み慣れた暮らしの場における看取りを希望される方に、どのような支援ができるのか、経験豊富な専門職が、基礎的なことから分かりやすくお話しします。職種、所属を問わず、広くご参加をお待ちしております。

暮らしの場である自宅や施設での看取り期のケアの提供に関して・・・

- 経験したことがないので具体的なイメージがわからない
- どのようなことに配慮すればよいか知りたい
- ご本人とご家族の意向が違う時の支援の在り方を知りたい
- 医師・看護師・介護職など関係者がどう連携すればよいか知りたい

このような方はぜひご参加ください！



開催日時 平成29年3月23日(木) 9時30分～17時頃(予定)(開場9時)

会場 ベルサール渋谷ファースト B1ホール(渋谷駅東口徒歩8分)

対象者 介護・看護職員、ケアマネジャー、生活相談員等の
医療・介護関係者(施設・在宅)、行政職員など

- ・可能な限り、本研修で学んだことを事業所内で伝達していただける方がご参加ください。
 - ・医師向け研修(基礎編)は平成29年度に別途実施予定です。
- (なお、研修内容に関心のある医師の方は、今回の研修にもご参加いただけます。)

定員 1,000名程度

研修内容・講師、お申し込み方法は裏面をご覧ください

申込期限 平成29年3月9日(木) ※定員に達した場合は、期限前に締め切る可能性があります。

アクセス

渋谷駅東口徒歩8分

(JR線、銀座線、東横線、井の頭線等)

※近隣のベルサール渋谷ガーデン(渋谷駅西口方面)とお間違えないようお気をつけください



所在地: 渋谷区東 1-2-20 住友不動産渋谷ファーストタワー B1

暮らしの場における看取りのための多職種向け研修（基礎編）

【研修内容】

項目	目的・主な内容
イントロダクション	課題の背景や地域包括ケアシステムに関わる東京の現状 多死社会の到来、死をめぐる考え方の変化 など
人生の最終段階におけるケアに関する基本的な考え方	人生の最終段階について、具体的なイメージをもち、 ケアの在り方について正しく理解する ・意思決定支援 ・自然な死とその生理的变化 ・苦しむ人への援助(本人・家族) など
看取りに関する手順	看取り期のケアの具体的な手順のイメージをつかむ 「看取りに関する方針と体制の確立」から「利用者が 死亡した後の対応」までの各ステップの目的・手順・留意点
死を取りまく課題と対応	ご本人にとって最善の看取り期のケアを目指すうえで 生じやすい課題とその対応方法の概要

講演予定者（五十音順）

秋山 正子 氏 （白十字訪問看護ステーション統括所長、暮らしの保健室室長）

川崎 千鶴子 氏 （特別養護老人ホームみずべの苑施設長）

柴田 三奈子 氏 （株式会社ラピオン 山の上ナースステーション 代表取締役）

新田 國夫 氏 （東京都在宅療養推進会議会長）

平原 佐斗司 氏 （梶原診療所在宅総合ケアセンター長／病棟医長、オレンジほっとクリニック所長）

申込方法

下記の東京都福祉保健局ホームページから申込様式「参加申込書・事前アンケート」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、電子メールにて平成29年3月9日（木）まで（※）にお申込みください。（電子メールの送付が難しい場合は、別紙の「参加申込書・事前アンケート」にご記入の上、FAXでお送りいただいても構いません）

本研修に関するホームページ

東京都福祉保健局 > 高齢者 > 高齢者施策 > 暮らしの場における看取り支援事業 >

暮らしの場における看取りのための多職種向け研修（基礎編）を実施します（平成29年3月23日）

（URL）

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kourei/shisaku/kurasinobamitorisien/kisokensyuu.html>

●参加申込書と事前アンケートの両方を記入・提出いただいた方が参加対象となります。

●申込を受け付けた方には、追って受講票を送付しますので、研修当日にご持参ください。

（※）申込期限はお申込み状況によって前後する可能性があります。随時上記ホームページにてお知らせします。

申込・問い合わせ先

株式会社 自然堂（じねんどう）内 運営事務局

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南 1-34-1 阿佐ヶ谷マンション 305

TEL：03-3317-8242

FAX：03-6454-6915 メール：mitori@jinendo.biz

平成29年3月23日(木) 暮らしの場における看取りのための多職種向け研修(基礎編)

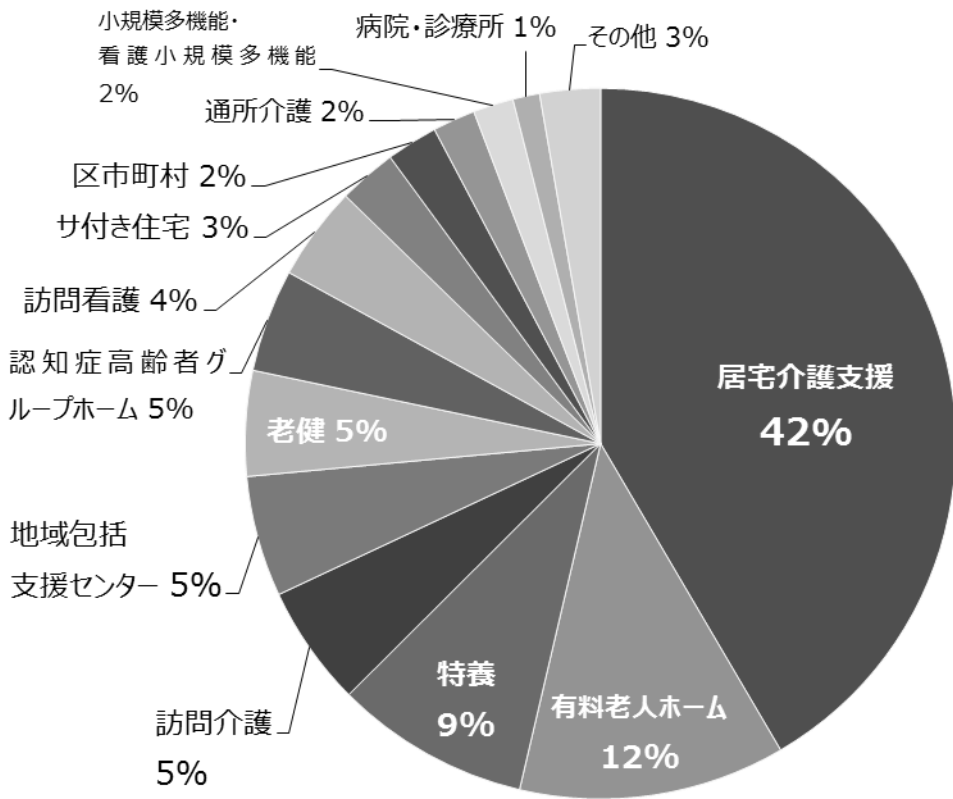
- ねらい
- ・死をめぐる考え方についての日本人における変化と死生観を理解する
 - ・人生の最終段階について、具体的なイメージをもち、ケアの在り方について正しく理解する
 - ・看取り期のケアの具体的な手順のイメージをつかむ
 - ・ご本人にとって最善の看取り期のケアを目指すうえで生じやすい課題とその対応方法の概要を知る
 - ・暮らしの場における看取りについてそれぞれの立場でできることを考える

○プログラム

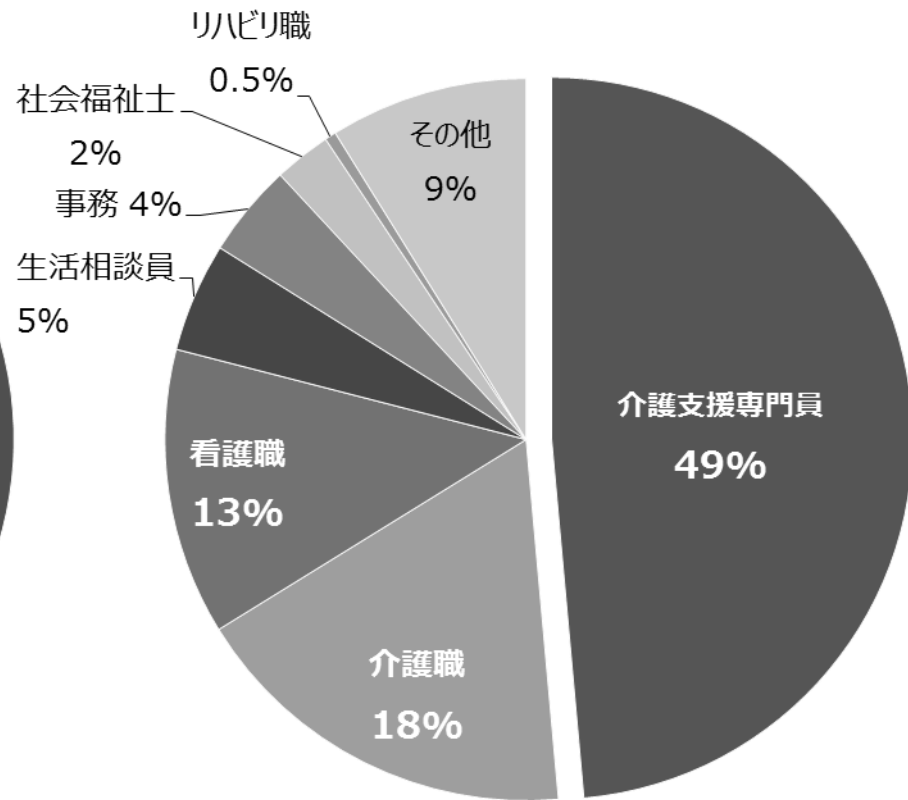
科目	時間	担当・講師(敬称略)
開講式	9:30-9:35 (5分)	都職員
イントロダクション	9:35-9:55 (20分)	東京都在宅療養推進会議会長 新田 國夫
人生の最終段階におけるケアに関する基本的な考え方(前編)	9:55-10:25 (30分)	
休憩(20分)		
人生の最終段階におけるケアに関する基本的な考え方(前編)	10:45-11:45 (60分)	白十字訪問看護ステーション統括所長 秋山 正子 暮らしの保健室室長 特別養護老人ホームみずべの苑施設長 川崎 千鶴子
壇上ロールプレイ「意思決定支援」	11:45-12:25 (40分)	株式会社ラビオン 代表取締役 柴田 三奈子 山の上ナースステーション
昼食(60分)		
事前アンケート結果紹介	13:25-13:35 (10分)	都職員
人生の最終段階におけるケアに関する基本的な考え方(後編)	13:35-14:45 (70分)	梶原診療所在宅総合ケアセンター長/病棟医長 平原 佐斗司 オレンジほっとクリニック所長 白十字訪問看護ステーション統括所長 秋山 正子 暮らしの保健室室長
休憩(20分)		
看取りに関するガイド 死をとりまく課題と対応	15:05-15:25 (20分)	特別養護老人ホームみずべの苑施設長 川崎 千鶴子
壇上ロールプレイ「看取りまでの支援」	15:25-16:05 (40分)	株式会社ラビオン 代表取締役 柴田 三奈子 山の上ナースステーション
死をとりまく課題と対応	16:05-16:25 (20分)	梶原診療所在宅総合ケアセンター長/病棟医長 平原 佐斗司 オレンジほっとクリニック所長
まとめ ～あなたの置かれた場所で今すぐにもできること～	16:25-16:45 (20分)	白十字訪問看護ステーション統括所長 秋山 正子 暮らしの保健室室長 梶原診療所在宅総合ケアセンター長/病棟医長 平原 佐斗司 オレンジほっとクリニック所長 東京都在宅療養推進会議会長 新田 國夫
事務連絡	16:45-17:05 (20分)	都職員

暮らしの場における看取りのための多職種向け研修（基礎編）事前アンケート結果

《 所属事業所 》



《 職種 》

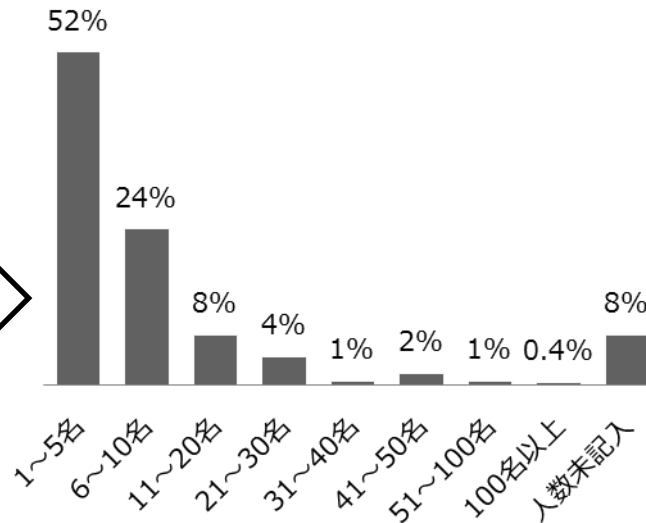
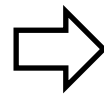
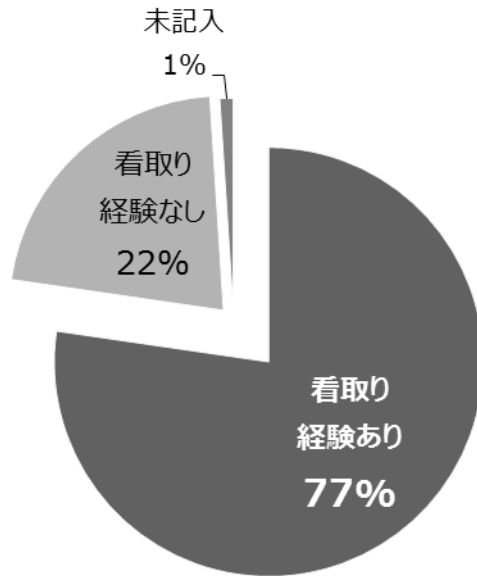


集計対象：平成29年2月8日までに申込みのあった方のうち受講対象者（982人）

暮らしの場における看取りのための多職種向け研修（基礎編）事前アンケート結果

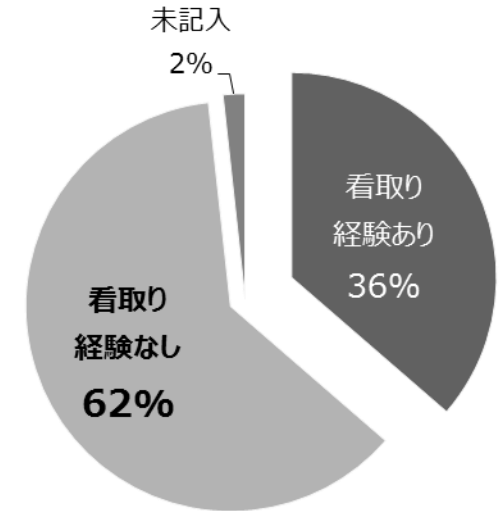
◆ 暮らしの場（在宅・高齢者施設など）における看取り経験の有無

(1) 仕事上の関わり

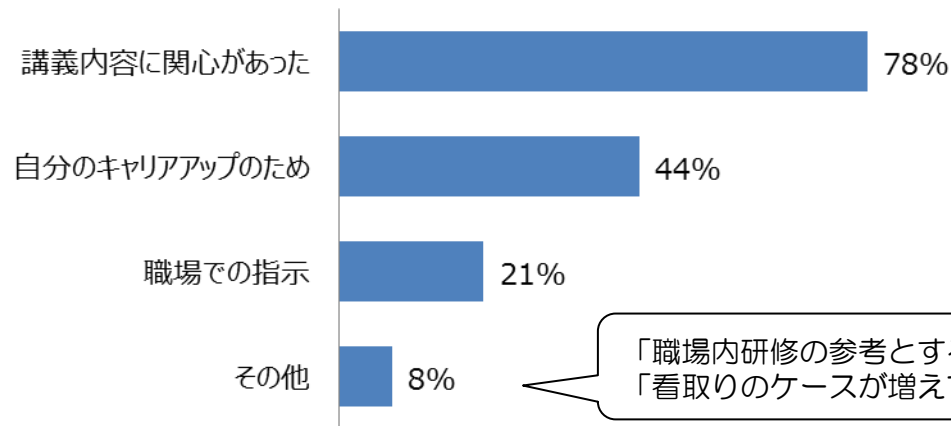


看取り人数（「看取り経験あり」の内訳）

(2) ご家族など（仕事以外）



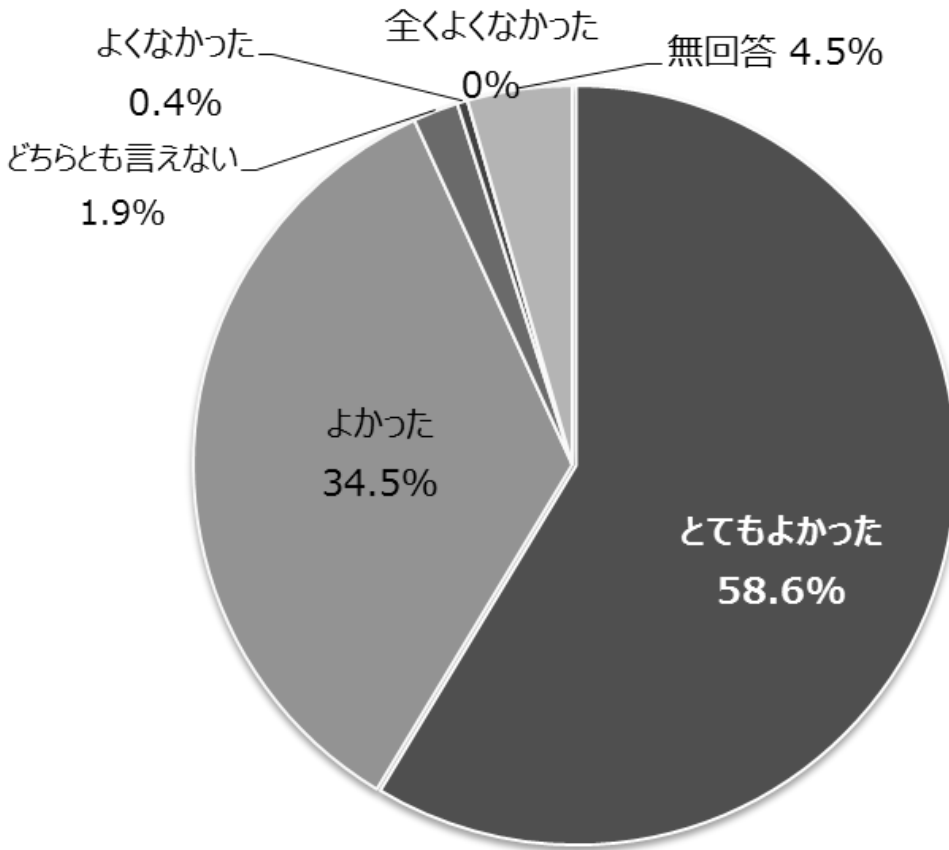
◆ 受講動機（複数回答可）



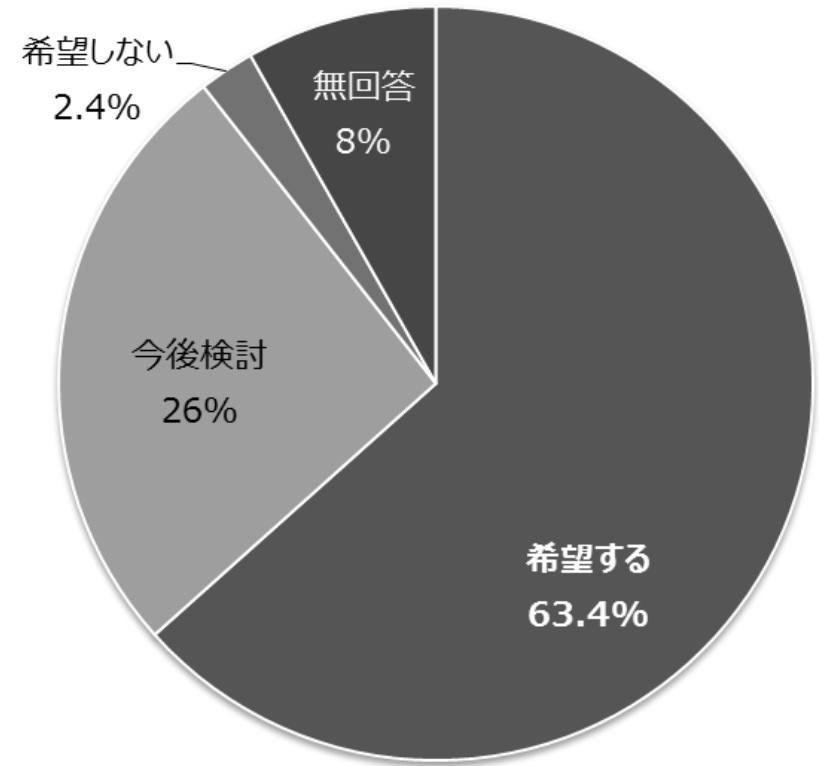
「職場内研修の参考とするため」
「看取りのケースが増えているため」など

暮らしの場における看取りのための多職種向け研修（基礎編）事後アンケート結果

《 研修全体の印象 》



《実践編研修への参加希望》



I 特別養護老人ホーム等看取り対応改修費補助事業

- ①【補助方式】 区市町村補助事業(間接補助)
- ②【対象経費】 既存の施設において利用者の看取りを行うために必要な環境を整備するための改修に必要な施設整備費
- ③【基準額】 6,000千円(補助率3/4)
- ④【参考例】 看取り時の個室として静養室を改修、家族宿泊のためのスペースを確保するための改修 等

■H28年度実績 1件 (社会福祉法人竹清会「特別養護老人ホーム美郷」(町田市))
 ■H29年度計画 10件 (※予算規模)

II 看取り期まで対応する小規模な地域の住まい支援事業

1 開設準備経費等補助

- ①【補助方式】 区市町村補助事業(間接補助)
- ②【対象経費】 補助対象住まいの円滑な整備・開設に必要な、開設前6月に係る以下の費用
A経費(施設・整備) 工事請負費
B経費(開設準備) 需用費、使用料及賃借料、備品購入費(備品設置に伴う工事請負費を含む)、報酬、給料、職員手当等、共済費、賃金、旅費、役務費、委託料
- ③【基準額】 10,000千円(補助率10/10)(※B経費は積算定員1人当たり621千円、5人を上限、最高3,105千円)
- ④【参考例】 既存建築物を活用した整備、職員の研修 等

2 看取り対応支援費補助

- ①【補助方式】 都補助事業(直接補助)
- ②【対象経費】 質の高い看取りに取り組む補助対象住まいが、開設後において継続的に必要な体制を整えるための費用
- ③【補助基準額】 月額24千円(看取り期入居者1人当たり)(※各月5人を上限、1施設当たり月額上限120千円)
- ④【参考例】 介護職員等の労働環境向上を支援、入居者等のサービス向上を支援 等

■H28年度実績 [支援費] 1件 (株式会社ケアサービスとも「在宅医療ケアとも」(足立区))
 ■H29年度計画 [開設] 2件 [支援費] 15件 (※予算規模)